



子どもたちへ

お話しのおプレゼント

創作童話

第2回

「あかちゃんにんじん」

みっちゃんのお父さんは野菜づくりの名人です。美味しい野菜つてみんなに大人気。

けれど・みっちゃんは野菜が好きではありません。「ピーマンきらい。ねぎもきらい。トマトもきらい。人参は一番だいつきらい。」そういつてみんなを困らせています。

ある日のこと。朝早く、お父さんがみっちゃんに言いました。

「畑の手伝いにおいで。」みっちゃんも眠い目をこすりながら、お父さんについていきました。

畑には、若草色の葉っぱがポシヤポシヤ出ていました。そして葉っぱの上を紋白蝶がゆらゆら飛んでいました。お父さんは畑に入ると葉っぱをシユッと引き抜きました。

葉っぱには、土のついた細くてちっちゃなものがありました。

お父さんが、軍手で土をササッと拭くと、赤ちゃん人参が顔を出しま

した。
お父さんはカリカリかじりながら「甘いな。お菓子みたいだな。」といいました。

みっちゃんのお口の中からつばが



溢れ出そです。

「お父さん、一つちようだい。」

小さい手を伸ばしたみっちゃん。お父さんは嬉しそうに赤ちゃん人参を渡してくれました。

「カリッ！うえっ！やっぱり人参だ。」みっちゃんは手で口を押さえました。

でも、お父さんが嬉しそうに「カリカリ。ごっくん」をしています。

みっちゃんは、大好きなお父さんみたいに「カリカリ。ごっくん」がしたくなりました。

みっちゃんは勇気を出して、もう一度「カリッ！」そして「ごっくん」

「できた！できた！」

みっちゃんとお父さん一緒に「カリカリ。ごっくん。カリカリ。ごっくん」

畑の紋白蝶は二人の「カリカリ。ごっくん」に合わせてゆうらゆら飛んでいます。

カリカリ。ごっくん。ゆうらゆら遠くでお母さんの呼ぶ声がします。

「さあ。帰ろうか」

につこりうなづくみっちゃん。

「お父さん！赤ちゃん人参って美味しいね」

原作 村田美代子（二本木在住）
絵 草野美奈子（箱根ヶ崎在住）

編集後記

連日マスコミで、後を絶たない飲酒運転の実態が報道されています。「飲んだら乗るな・乗るなら飲むな」を肝に命じて、年末にかけての忘年会など飲酒運転は、犯罪である認識を持って……。今回の内容は、いかがでしたか。皆さんのご意見、ご感想をお待ちしています。

（大坪国広）

